



# 2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022年 2月 3日

喜びを創り喜びを提供する

寿心 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



# 目次

- 2022年3月期 第3四半期決算概要 P 1～18
- 2022年3月期 通期業績予想 P 19～23
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 24～42
- 株式の状況・株主還元 P 43～46
- 参考情報 P 47～60



# 2022年3月期 第3四半期決算概要

## 2022年3月期 第3四半期決算の業績ハイライト

第3四半期会計期間での最高益更新により、累計期間で黒字転換

### <会計期間(10～12月期)>

売上高 前年同期比130.5%(前々年同期比82.5%)

経常利益2,698百万円(前年同期比163.2%、前々年同期比100.1%)

経常利益率は、前年同期に対し4.9ポイント増加の24.6%

### <累計期間(4～12月期)>

売上高 前年同期比140.6%(前々年同期比64.3%)

経常利益2,217百万円(前年同期は 経常損失303百万円)

# 2022年3月期 第3四半期決算の業績ハイライト

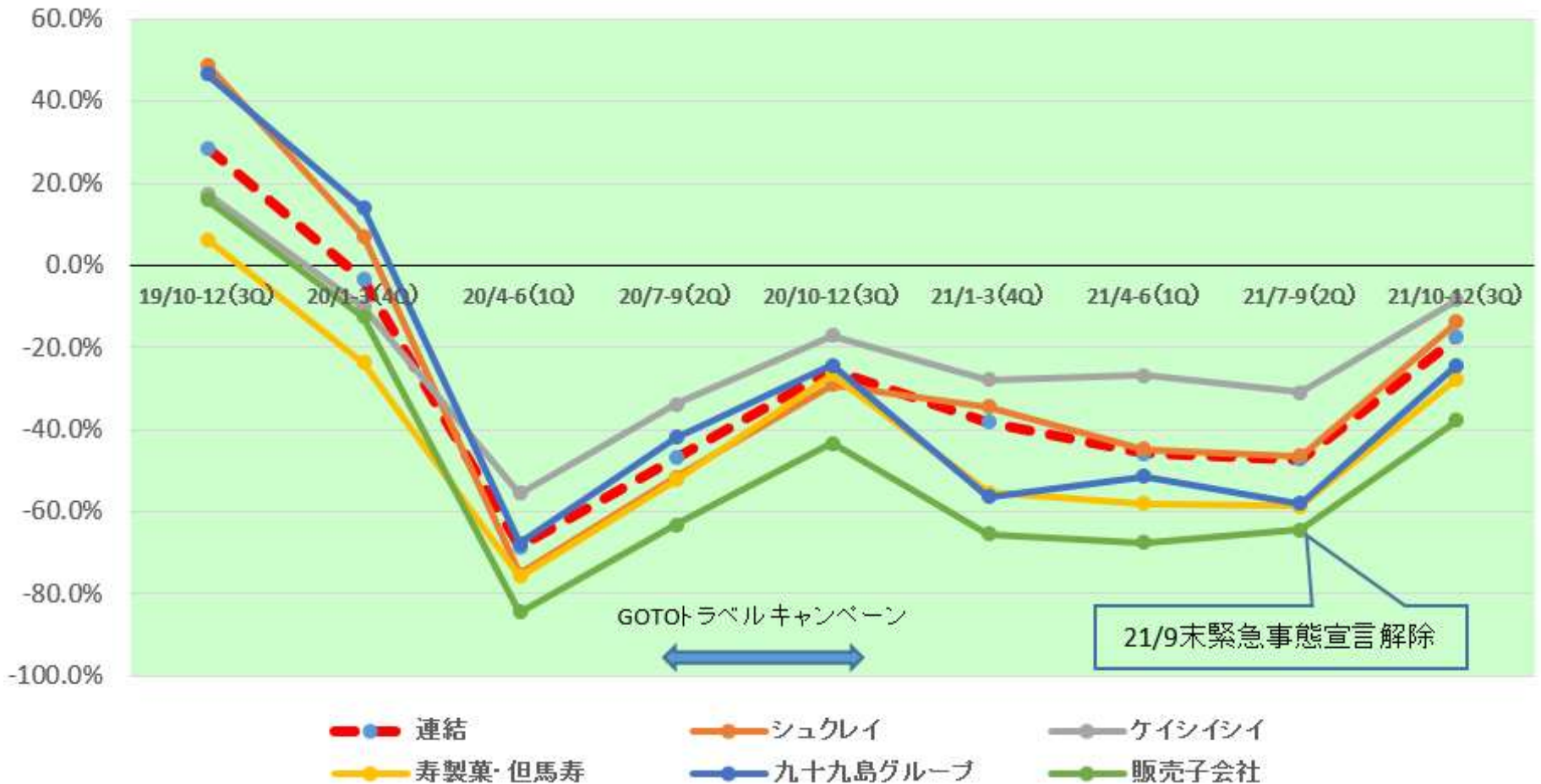
●当第3四半期会計期間は、依然としてインバウンド需要が消失している中、緊急事態宣言解除により、徐々に人出が戻り、売上高は、前々年同期比82.5%まで回復。利益面は、12月商戦の積極展開が奏功し、生産性及び販売効率の改善などにより利益率が上昇した結果、経常利益及び四半期純利益は、それぞれ四半期会計期間での最高益を僅かながら更新した。

●結果として、累計期間の経常利益は2,217百万円、純利益は1,477百万円となり、それぞれ2期ぶりに黒字転換した。

3期間比較	2020.3期		2021.3期		2022.3期	
	3Q会計 (10-12)	3Q累計 (4-12)	3Q会計 (10-12)	3Q累計 (4-12)	3Q会計 (10-12)	3Q累計 (4-12)
(単位:百万円)						
売上高	13,287	35,675	8,402	16,306	10,963	22,921
(対前々年同期比)					(△17.5%)	(△35.7%)
(対前年同期比)					(+30.5%)	(+40.6%)
経常利益(△損失)	2,694	6,242	1,653	△ 303	2,698	2,217
(対前々年同期比)					(+0.1%)	(△64.5%)
経常利益率	20.3%	17.5%	19.7%	—	24.6%	9.7%
純利益(△損失)	1,702	3,970	1,116	△ 174	1,760	1,477
(対前々年同期比)					(+3.4%)	(△62.8%)

# 売上動向

## 前々年増減比推移



# 新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

<2022年3月期 第3四半期>

## ●売上動向

10月は、一昨年実施された政府のGOTOトラベルキャンペーンの反動で、伸び悩んだものの、11月以降は、徐々に回復。特に12月は人流回復も追い風に、クリスマス、帰省、お年賀需要の獲得に向け、積極的に対策を講じたことにより、前々年比95.9%まで回復。

売上高月別増減率 <海外子会社除く>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
対前年増減率	222.5%	145.0%	43.9%	44.3%	17.4%	△0.7%
対前々年増減率	△43.2%	△48.5%	△44.7%	△37.6%	△54.0%	△48.9%
	10月	11月	12月			
対前年増減率	1.3%	25.2%	51.5%			
対前々年増減率	△33.3%	△22.1%	△4.1%			

●営業外収益に雇用調整助成金などの助成金収入を1,281百万円計上(会計期間では392百万円)。

<足元の状況>

●1月に入り「まん延防止等重点措置」の適用対象地域が全国的に広がり、再び自粛傾向が強まりを見せている。1月の売上高は、前々年比の7割弱で推移。

<2022年3月期の業績予想について>

●先行きは極めて不透明な状況であることを踏まえ、2021年11月4日に公表した予想数値を据え置いている。

# 第3四半期(累計)のトピックス①

## 12月の東京駅エリア、積極展開が奏功し、売上復活！

新ブランドによる出店を積極的に展開してきた東京駅エリア、人流回復を追い風に、需要喚起に向けた対策強化により12月の同エリア全体の売上高はコロナ前水準を超え、連結業績の回復に貢献



**シュクレイ**  
Butter Butler 東京ギフトパレット(催事)



**シュクレイ**  
COCORISグランスタ東京店



**シュクレイ**  
The MAPLE MANIA東京駅催事



**ケイシイシイ**  
PISTA & TOKYO 東京ギフトパレット店



**ケイシイシイ**  
岡田謹製あんバター屋東京ギフトパレット店



**ケイシイシイ**  
Now on Cheese♪Hello,TokyoStation!<sup>-6-</sup>

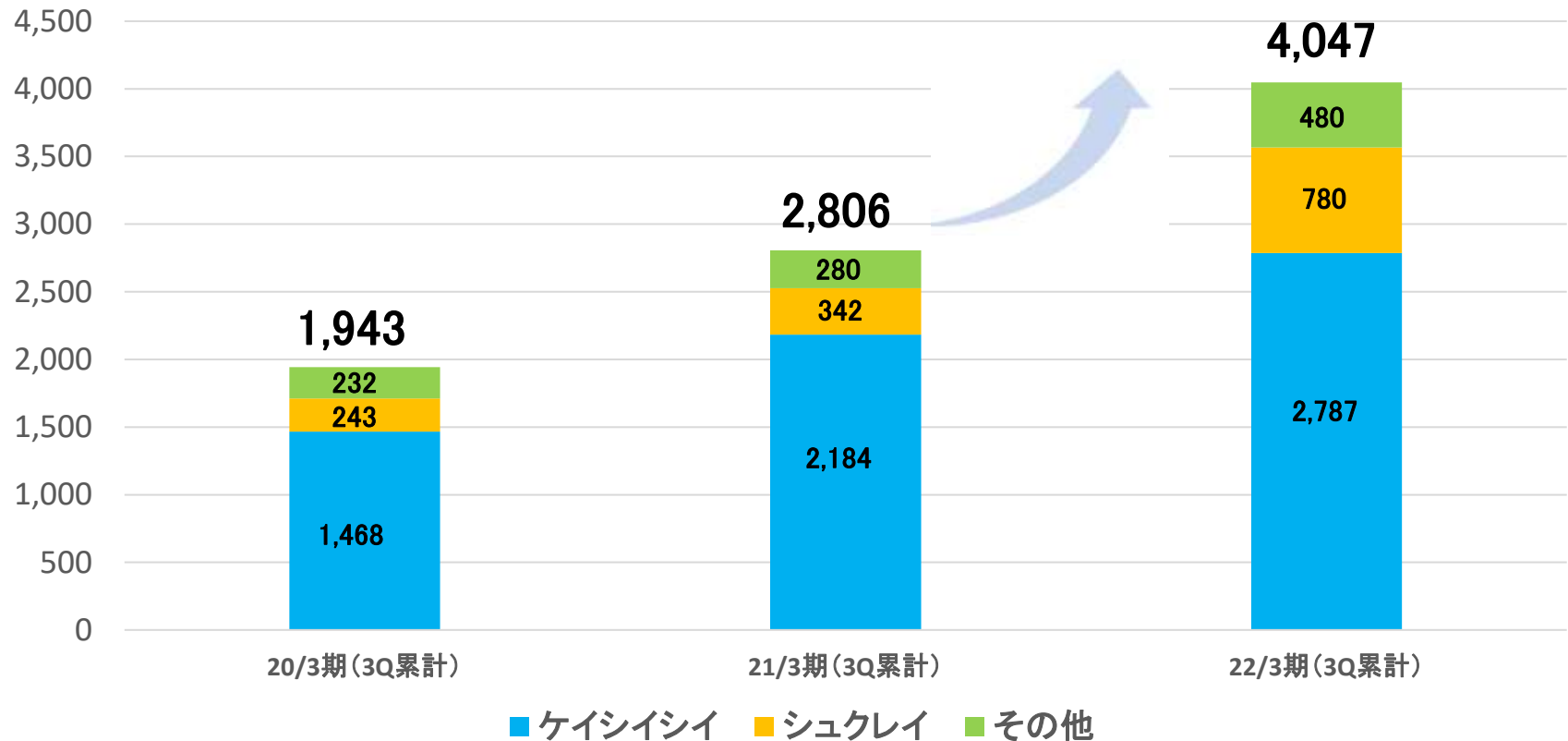


## 第3四半期(累計)のトピックス②

通信販売は、プロモーション及びロイヤルカスタマー対策強化などにより続伸  
3Q累計売上4,047百万円(前年同期比44.2%増)

(単位:百万円)

### 通信販売売上高



# 第3四半期(累計)のトピックス③

中国での出店効果などにより海外売上が伸長  
3Q累計売上1,355百万円(前年同期比26.4%増)



Fromage Double - Best Seller - MEL&amp;SYD

\$37.99



Chocolat Double - SYD ONLY

\$37.99

## 海外売上高(3Q累計)

(単位:百万円)

	21/3期 (3Q累計)	22/3期 (3Q累計)	増減額	増減比
香港 ※1、※2	36	-	△ 36	-
台湾 ※1	286	325	39	13.6%
韓国	124	147	23	18.6%
シンガポール	165	147	△ 18	△10.8%
中国	432	681	250	57.8%
その他	29	54	25	87.9%
合計	1,072	1,355	283	26.4%

## LeTAO ECサイト(オーストラリア)

- ※1 香港、台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。  
 香港、台湾は現地売上、FCは国内出荷売上+ロイヤルティ
- ※2 香港事業は、一昨年2月に事業を閉鎖し、現地法人  
 Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中。

# 2022年3月期 第3四半期(累計)業績(対前年同期)

## 積極展開が奏功し営業黒字に転換

(百万円、%)	前第3四半期 (20年4月～12月)		当第3四半期 (21年4月～12月)		対前年同期		(参考)前期 (20年4月～21年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	16,306	—	22,921	—	6,615	40.6	23,205	—
売上総利益	7,945	48.7	12,426	54.2	4,481	56.4	11,640	50.2
販売管理費	10,253	62.9	11,566	50.5	1,313	12.8	14,531	62.6
営業利益(△損失)	△ 2,307	—	860	3.8	3,168	—	△ 2,890	—
経常利益(△損失)	△ 303	—	2,217	9.7	2,520	—	△ 322	—
四半期(当期)純利益 (△損失)※	△ 174	—	1,477	6.4	1,652	—	△ 570	—
EPS(円)	△ 5.60		47.47		53.07		△ 18.30	

※ 四半期(当期)純利益(△損失) = 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)

●「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間から適用しており、当第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## 収益認識会計基準適用に伴う影響について

収益認識会計基準の適用に伴い、消化仕入型販売取引、通信販売等における配送サービス、通販サイトのポイントについて経理処理方法を変更しております。この変更による影響額は、下表のとおりで、売上総利益率は2.6ポイント減少し、販売管理費率は2.3ポイント減少しております。

(百万円、%)	22/3期(3Q累計)				影響額
	変更前	売上比	変更後	売上比	
売上高	22,242	—	22,921	—	679
売上原価	9,607	43.2	10,495	45.8	889
売上総利益	12,635	56.8	12,426	54.2	△ 209
販売管理費	11,749	52.8	11,566	50.5	△ 183
運賃	1,200	5.4	762	3.3	△ 438
地代家賃	1,841	8.3	814	3.6	△ 1,026
支払手数料	455	2.0	1,762	7.7	1,307
その他	8,254	37.1	8,228	35.9	△ 26
営業利益	887	4.0	860	3.8	△ 26

●上記の他、利益剰余金の当期首残高が24百万円減少しております。

# セグメント別の業績(対前年同期)

主要セグメントは軒並み回復。中でもシュクレイが大幅増収

(百万円、%)	売上高				営業利益(△損失)		
	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額	増減率	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額
シュクレイ	4,969	8,507	3,538	71.2	△ 894	573	1,468
ケイシイシイ	5,502	7,475	1,973	35.9	△ 398	243	641
寿製菓・但馬寿	4,016	4,713	696	17.3	△ 398	61	459
販売子会社	1,643	2,223	580	35.3	△ 401	△ 117	284
九十九島グループ	1,579	2,063	485	30.7	△ 408	△ 295	113
その他※	372	371	△ 1	△ 0.4	2	9	6
セグメント計	18,081	25,351	7,271	40.2	△ 2,497	473	2,971
調整額	△ 1,774	△ 2,430	△ 655	36.9	190	387	197
合計	16,306	22,921	6,615	40.6	△ 2,307	860	3,168

※その他に含まれる香港事業は、一昨年2月に事業を閉鎖し、現地法人Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中。

## 第3四半期(累計)主要セグメントの状況

### シュクレイ

「東京ミルクチーズ工場」の10周年記念商品の発売など、各ブランドにおいて新商品や限定商品の発売などによるブランド訴求力の向上に注力。また、百貨店及びショッピングモールなどでの期間限定出店の推進、通信販売の強化などに取り組んだ。新規出店では、6月に渋谷東急フードショーに「THETAILEOR(ザ・テイラー)」を、また、12月にはエキュート品川に新ブランド「FiOLATTE(フィオラッテ)」を出店するなど、計7店の出店を行った。

### ケイシイシイ

通信販売において、外部ECでは楽天市場やLINEギフトなどでのプロモーション強化に努め、自社ECでは上顧客向けキャンペーン展開などロイヤルカスタマー対策の強化に注力。店舗展開では、首都圏で展開している「PISTA&TOKYO(ピスタアンドトーキョー)」、「Now on Cheese♪(ナウオンチーズ)」、「岡田謹製あんバター屋」のブランド認知度向上を図るため、限定商品の発売や期間限定出店に取り組んだ。海外事業では、中国向け売上高が出店増加などにより堅調に推移。

### 寿製菓・但馬寿

代理店及びグループ会社との連携強化を図り、新商品開発などに注力。また、スポーツニュートリション市場向け「プロテインバー」の開発など新市場開拓などに取組んだ。山陰地区では、8月に行われたメルカリ社主催の全国インディーズ土産投票において1位を獲得した「因幡の白うさぎ」の販促強化に努めた。

### 販売子会社

交通拠点チャネルを重点に、自家需要に対応した新商品開発及び売場提案に注力。また、関西地区の販売子会社では、「コンディトライ神戸」及び「京都ヴェネト」ブランドによる通信販売の強化に努めた。

### 九十九島グループ

主力商品「九十九島せんぺい」の発売70周年を記念したキャンペーン展開や博多発の新ブランド「はかたんもん」において新商品2品を発売し、売場拡販に取り組んだ。新規出店では、4月にフレンチトースト専門店「Ivorish(アイボリッシュ)」のギフトショップを博多阪急に出店。

# 売上高(販売チャネル別)

国内小売が前年同期の緊急事態宣言に伴う休業の反動・帰省需要の回復などで大幅増収

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	16,306	—	22,921	—	6,615	40.6
通信販売	2,806	17.2	4,047	17.7	1,240	44.2
(内ケイシイシイ)	2,184	13.4	2,787	12.2	603	27.6
国内小売	6,625	40.6	10,700	46.7	4,075	61.5
国内卸売	5,796	35.5	6,815	29.7	1,019	17.6
(内インバウンド)	77	0.5	100	0.4	22	29.1
海外	1,072	6.6	1,355	5.9	283	26.4
その他	7	0.0	5	0.0	△ 2	△ 27.2

(注)国内小売は、主に直営店舗、催事など

国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど

その他は損害保険代理業

# 売上原価・売上総利益

売上回復及び生産性の改善などにより、売上総利益率は5.5ポイント増加

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	16,306	—	22,921	—	6,615	40.6	23,205	—
材料費	3,879	23.8	5,203	22.7	1,325	34.2	5,104	22.0
労務費	2,492	15.3	2,783	12.1	290	11.6	3,506	15.1
製造経費	1,384	8.5	1,420	6.2	36	2.6	1,853	8.0
製造原価計	7,755	47.6	9,406	41.0	1,651	21.3	10,463	45.1
その他	606	3.7	1,089	4.8	483	79.8	1,101	4.7
売上原価合計	8,361	51.3	10,495	45.8	2,134	25.5	11,565	49.8
売上総利益	7,945	48.7	12,426	54.2	4,481	56.4	11,640	50.2



# 販売管理費・営業利益

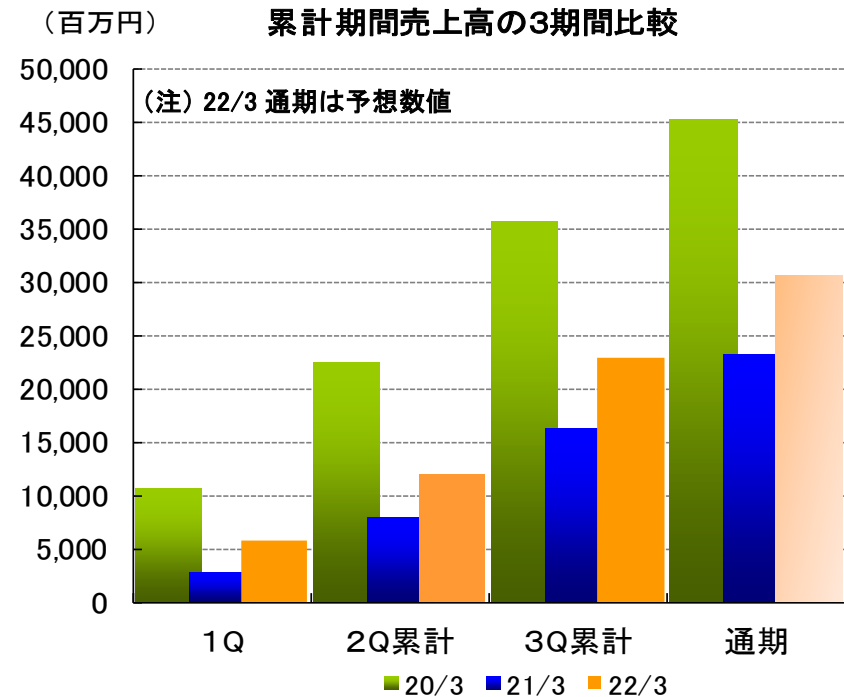
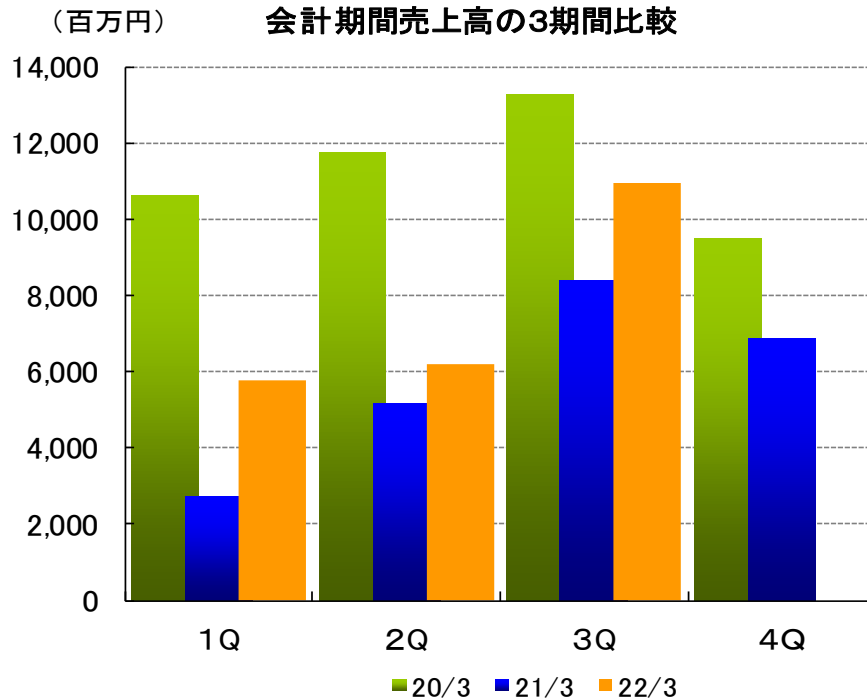
売上回復及びコスト抑制などにより販売管理費率は12.4ポイント減少

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	7,945	48.7	12,426	54.2	4,481	56.4	11,640	50.2
人件費	4,635	28.4	4,962	21.6	327	7.1	6,428	27.7
販売促進費	1,290	7.9	1,616	7.0	326	25.2	1,969	8.5
運賃	992	6.1	762	3.3	※△ 230	△ 23.2	1,382	6.0
広告宣伝費	178	1.1	209	0.9	31	17.4	276	1.2
地代家賃	1,374	8.4	814	3.6	※△ 559	△ 40.7	1,957	8.4
減価償却費	393	2.4	319	1.4	△ 74	△ 18.8	529	2.3
旅費交通費	129	0.8	163	0.7	34	25.9	185	0.8
支払手数料	319	2.0	1,762	7.7	※1,443	452.3	500	2.2
その他	943	5.8	959	4.2	※16	1.7	1,304	5.6
販売管理費	10,253	62.9	11,566	50.5	※1,313	12.8	14,531	62.6
営業利益(△損失)	△ 2,307	—	860	3.8	3,168	—	△ 2,890	—

※収益認識会計基準の適用に伴う影響あり。詳細についてはP10を参照。

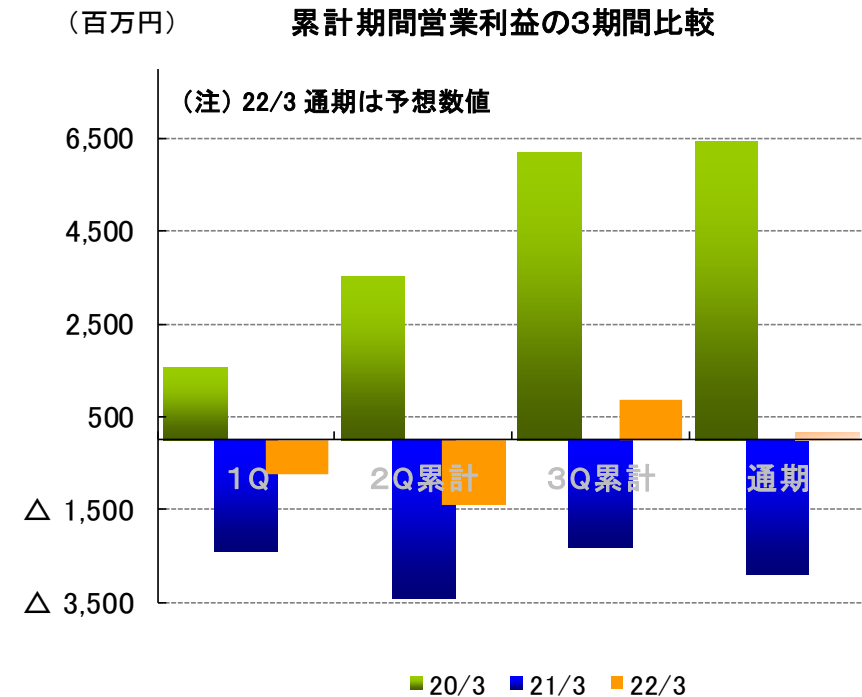
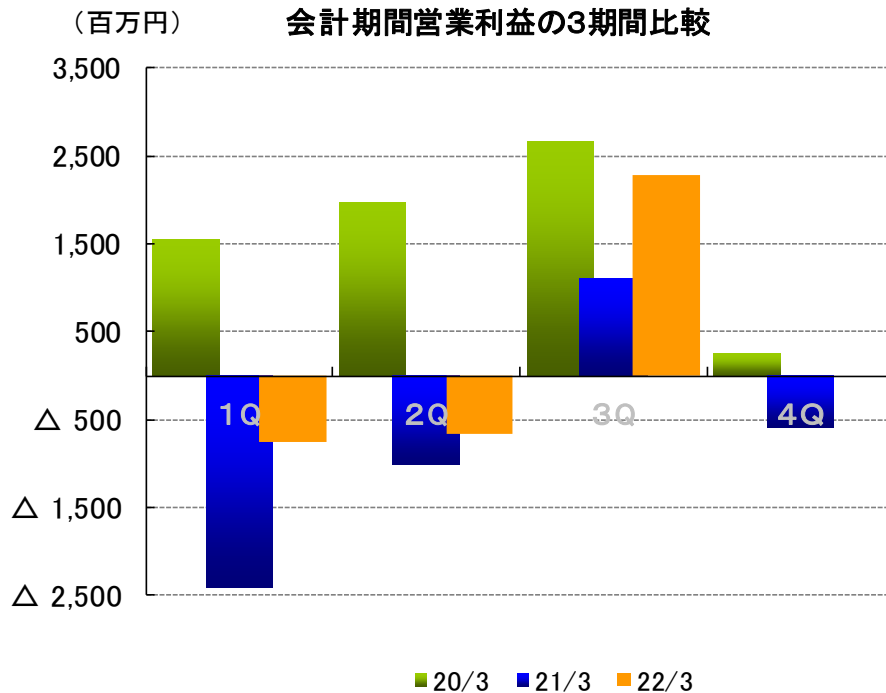
●人件費の増加は、主に前期実施した役員報酬、賞与の減額の反動によるもの。

# 四半期業績の推移(売上高)



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
20/3	10,627	11,761	13,287	9,506	10,627	22,388	35,675	45,181
21/3	2,716	5,189	8,402	6,898	2,716	7,905	16,306	23,205
22/3	5,758	6,200	10,963	-	5,758	11,959	22,921	30,700
対前々年	△45.8%	△47.3%	△17.5%	-	△45.8%	△46.6%	△35.7%	△32.1%
対前年	112.0%	19.5%	30.5%	-	112.0%	51.3%	40.6%	32.3%

# 四半期業績の推移(営業利益)



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
20/3	1,555	1,964	2,672	264	1,555	3,519	6,191	6,455
21/3	△ 2,409	△ 1,012	1,114	△ 583	△ 2,409	△ 3,421	△ 2,307	△ 2,890
22/3	△ 759	△ 659	2,279		△ 759	△ 1,418	860	150
対前々年	-	-	△14.7%		-	-	△86.1%	△97.7%
対前年	-	-	104.6%		-	-	-	-

# 貸借対照表

流動資産の増加は、主に売上債権の増加によるもの

(百万円、%)	20年3月期		21年3月期		22年3月期3Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	13,444	50.1	12,615	50.4	15,380	56.4	2,766	21.9
固定資産	13,370	49.9	12,437	49.6	11,870	43.6	△ 567	△ 4.6
資産合計	26,814	100.0	25,052	100.0	27,250	100.0	2,198	8.8
流動負債	3,846	14.3	3,077	12.3	4,829	17.7	1,752	56.9
固定負債	1,803	6.7	2,634	10.5	2,543	9.3	△ 91	△ 3.4
負債合計	5,649	21.1	5,711	22.8	7,372	27.1	1,661	29.1
純資産	21,165	78.9	19,342	77.2	19,878	72.9	537	2.8
負債純資産合計	26,814	100.0	25,052	100.0	27,250	100.0	2,198	8.8
BPS(円)	680.11		621.53		638.78		17.25	2.8
設備投資額	2,041		540		289			
減価償却費	1,459		1,420		905			
当座貸越極度額	3,250		7,800		7,800			



## 2022年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2021年11月4日付で公表した予想から変更はありません。)

## 2022年3月期 通期業績予想(対前期)

営業利益は、下期で上期の損失を吸収し黒字転換を見込む

(百万円、%)	21年3月期		22年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	23,205	-	30,700	-	7,495	32.3
売上総利益	11,640	50.2	16,280	53.0	4,640	39.9
販売管理費	14,531	62.6	16,130	52.5	1,599	11.0
営業利益(△損失)	△ 2,890	-	150	0.5	3,040	-
経常利益(△損失)	△ 322	-	1,450	4.7	1,772	-
純利益(△損失)	△ 570	-	947	3.1	1,517	-
EPS(円)	△ 18.30		30.43		48.73	-
1株当たり配当金(円)	30.00		30.00		-	-
設備投資	540		400		△ 140	△ 25.9
減価償却費	1,420		1,230		△ 190	△ 13.4

●業績予想数値は2021年11月4日付公表のもの。

## 2022年3月期 下期業績予想(対前年・前々年同期比)

下期売上高対前年同期比22.5%増、対前々年同期比17.8%減

・緊急事態宣言の再発出は想定せず、市場環境は緩やかに回復基調で推移するものと想定し立案

(対前年同期比)	21年3月期(下期)		22年3月期(下期予想)		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
(百万円、%)						
売上高	15,300	-	18,741	-	3,441	22.5
売上総利益	8,640	56.5	10,439	55.7	1,800	20.8
販売管理費	8,109	53.0	8,871	47.3	762	9.4
営業利益	531	3.5	1,568	8.4	1,037	195.5
経常利益	1,634	10.7	1,931	10.3	297	18.2
純利益	720	4.7	1,230	6.6	509	70.7

(対前々年同期比)	20年3月期(下期)		22年3月期(下期予想)		対前々年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
(百万円、%)						
売上高	22,793	-	18,741	-	△ 4,052	△ 17.8
売上総利益	13,442	59.0	10,439	55.7	△ 3,003	△ 22.3
販売管理費	10,506	46.1	8,871	47.3	△ 1,635	△ 15.6
営業利益	2,936	12.9	1,568	8.4	△ 1,368	△ 46.6
経常利益	2,927	12.8	1,931	10.3	△ 996	△ 34.0
純利益	1,832	8.0	1,230	6.6	△ 602	△ 32.9

●業績予想数値は2021年11月4日付公表のもの。

## 2022年3月期 通期業績予想(セグメント別)

主要セグメントは、増収及び収益の改善を見込む

(百万円、%)	売上高				営業利益(△損失)		
	21/3月期	22/3月期予	増減額	増減率	21/3月期	22/3月期予	増減額
シュクレイ	7,627	11,390	3,763	49.3	△ 930	227	1,157
ケイシイシイ	8,177	9,716	1,539	18.8	△ 317	172	489
寿製菓・但馬寿	4,935	6,283	1,348	27.3	△ 860	△ 246	614
販売子会社	2,139	3,229	1,090	51.0	△ 566	△ 143	423
九十九島グループ	2,047	2,698	651	31.8	△ 649	△ 535	114
その他	539	528	△ 11	△ 2.1	27	34	7
セグメント計	25,464	33,844	8,380	32.9	△ 3,295	△ 491	2,804
調整額	△ 2,259	△ 3,144	△ 885	39.2	405	641	236
合計	23,205	30,700	7,495	32.3	△ 2,890	150	3,040

●業績予想数値は2021年11月4日付公表のもの。



# 通期業績予想に対する進捗状況

公表予想に対する進捗率 売上高74.7%、経常利益152.9%

(百万円、%)	22年3月期 3Q累計		22年3月期(予想)		進捗率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	22,921	—	30,700	—	74.7
売上総利益	12,426	54.2	16,280	53.0	76.3
販売管理費	11,566	50.5	16,130	52.5	71.7
営業利益	860	3.8	150	0.5	573.7
経常利益	2,217	9.7	1,450	4.7	152.9
四半期(当期)純利益	1,477	6.4	947	3.1	156.0

● 予想数値は2021年11月4日付公表数値。

(ご参考)過去の通期実績に対する第3四半期累計進捗率

	売上高	経常利益
2020年3月期	79.0%	96.4%
2021年3月期	70.3%	※ - ※損失計上のため



# 今後の経営方針とセグメント別業績の概況

## 経営理念・基本ポリシー

### 経営理念

喜びを創り喜びを提供する

### 基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

# 経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

## 《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



## ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

# 「お菓子の総合プロデューサー」

## General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

## 今後の経営方針

### 2022年経営スローガン

# 全日本リバイバル宣言

寿スピリッツグループは日本中の人々の幸福復活と  
日本経済復活に貢献する

### 目標指標

売上高経常利益率 **20%**

# 今後の経営方針

## 重点施策

### 1.寿リバイバル10の推進

#### <寿リバイバル10>

- ①売場徹底拡大
- ②販売力徹底強化
- ③年間イベントで積極的に対策を打つ
- ④催事は新規マーケット進出
- ⑤自宅土産とお祝いスイーツを強化ポイントに
- ⑥商品力は更なる高付加価値の追求により高いお客様満足にチャレンジ
- ⑦ECならではのファン創り
- ⑧ふるさと納税
- ⑨インバウンド復活準備
- ⑩海外成功モデル創り

### 2.「超現場主義」による組織力の向上

理念経営を根幹とした人財育成及び従業員満足度の向上を図り、製造ライン、店舗・営業部門における現場長中心の経営スタイル『超現場主義』に一層磨きをかけ、変化対応力及び競争力の高い組織づくりに邁進する。

## セグメント別概況

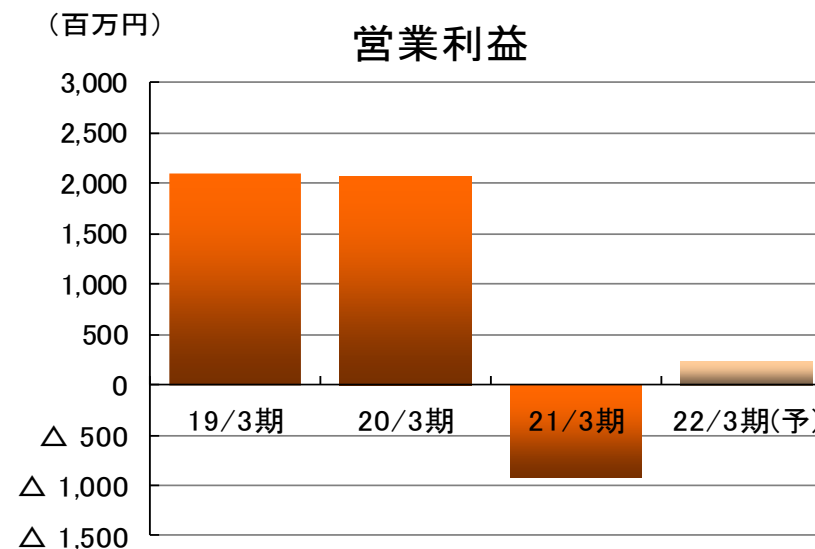
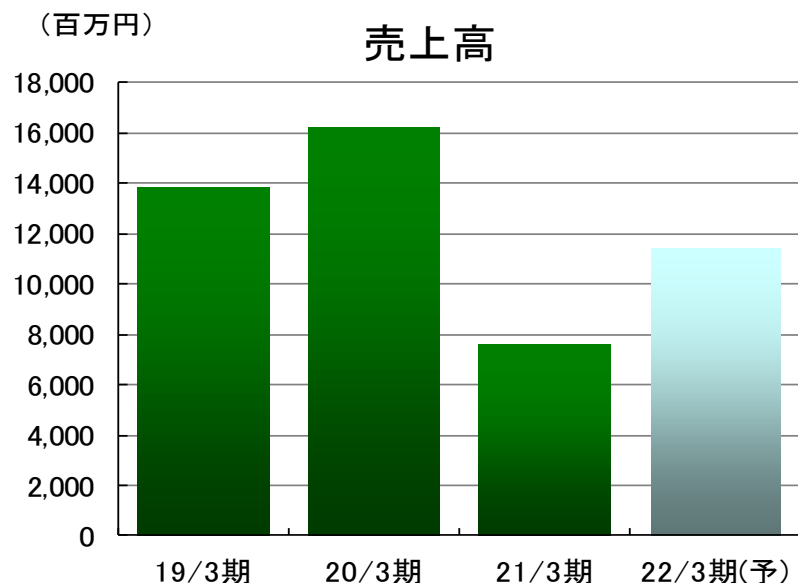


- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- くじゅうくしま 九十九島グループ
- その他




# 《シュクレイ》

22/3期予想:売上高 **11,390**百万円(前期比+49.3%)営業利益 **227**百万円(前期△930百万円)



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	13,860	16,199	7,627	△ 8,572	△ 52.9	11,390	3,763	49.3
売上総利益	8,682	9,893	4,198	△ 5,695	△ 57.6	6,639	2,441	58.1
粗利率	62.6	61.1	55.0	△ 6.0		58.3	3.2	
販売管理費	6,592	7,834	5,128	△ 2,706	△ 34.5	6,412	1,284	25.0
営業利益	2,090	2,059	△ 930	△ 2,989	-	227	1,157	-

# 《シュクレイ》


 FIOLATTE

需要喚起に向け、直営店、期間限定出店、通信販売での更なる販売力の強化を図る  
引き続きブランド育成及び新ブランド開発に注力

・2021年12月にラテ・アートをテーマにしたスイーツを展開する新ブランド「FiOLATTE」  
(フィオラッテ)をエキュート品川に出店



FiOLATTE エキュート品川店

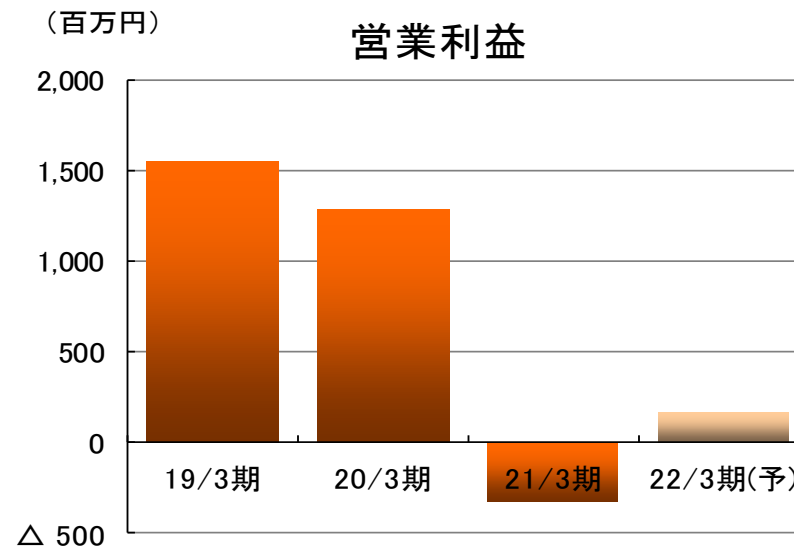
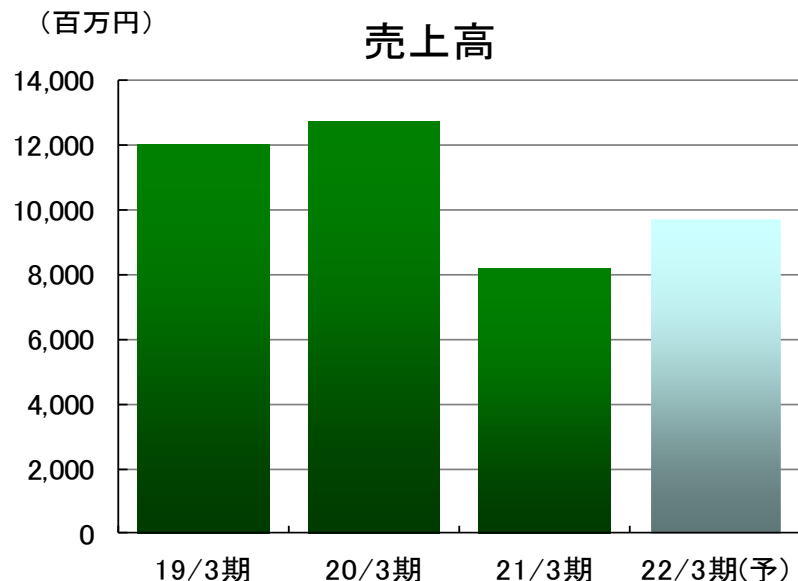
フィナンシェ

バイクドケーキ

ダックワーズサンド

# 《ケイシイシイ》

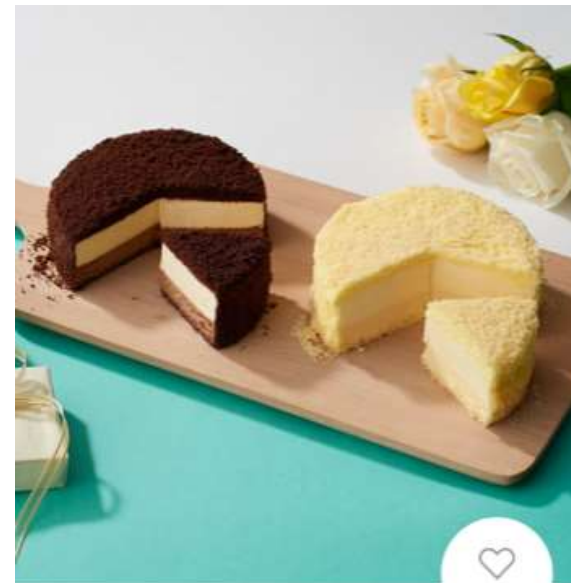
22/3期予想:売上高 **9,716**百万円(前期比**+18.8%**)営業利益 **172**百万円(前期△317百万円)



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	12,012	12,700	8,177	△ 4,523	△ 35.6	9,716	1,539	18.8
売上総利益	7,479	7,758	4,806	△ 2,952	△ 38.1	5,138	332	6.9
粗利率	62.3	61.1	58.8	△ 2.3		52.9	△ 5.9	
販売管理費	5,927	6,466	5,123	△ 1,343	△ 20.8	4,966	△ 157	△ 3.1
営業利益	1,553	1,292	△ 317	△ 1,609	-	172	489	-

# 《ケイシイシイ》

LeTAO限定スイーツ投入など通販・直営店・催事での季節イベント対策を強化  
PISTA&TOKYO、Now on Cheese ♪などの首都圏ブランドの育成強化にも注力



LeTAO

[ルタオ]人気チーズケーキ食べ比べセット

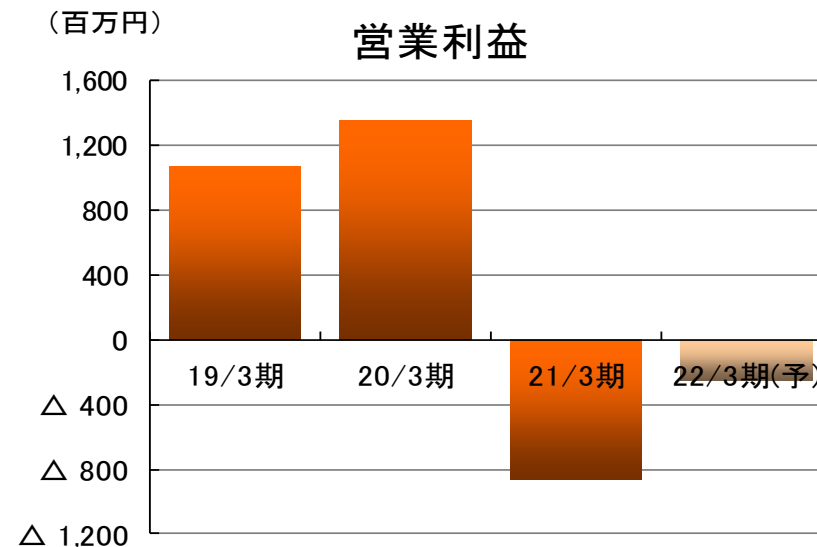
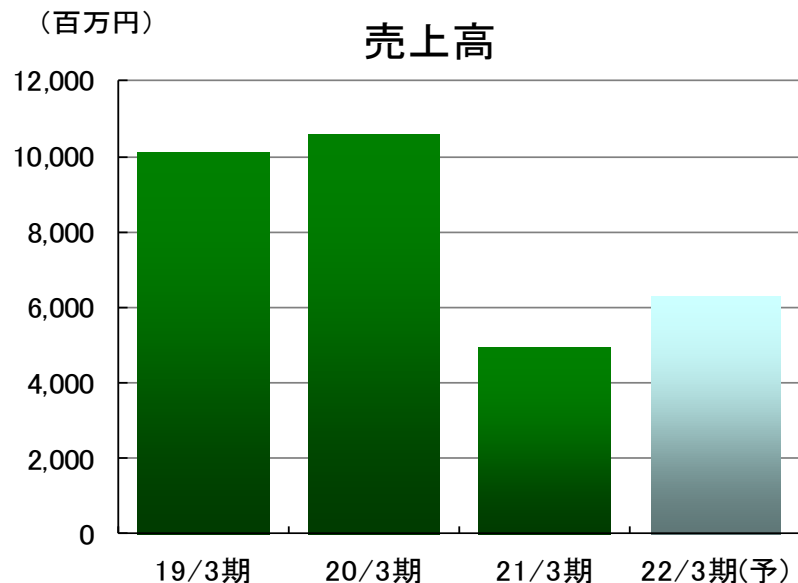
¥4,090 送料込み

自分用に購入

友だちにギフト

# 《寿製菓・但馬寿》

22/3期予想:売上高 **6,283**百万円(前期比+27.3%)営業利益 **△246**百万円(前期△860百万円)



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,080	10,572	4,935	△ 5,637	△ 53.3	6,283	1,348	27.3
売上総利益	3,866	4,199	969	△ 3,229	△ 76.9	1,773	804	82.9
粗利率	38.4	39.7	19.6	△ 20.1		28.2	8.6	
販売管理費	2,793	2,847	1,829	△ 1,017	△ 35.7	2,019	190	10.4
営業利益	1,073	1,352	△ 860	△ 2,212	-	△ 246	614	-

# 《寿製菓・但馬寿》

お菓子の**寿城**

代理店及びグループ向け新商品開発の推進、「プロテインバー」などによる新ジャンルの販路拡大に注力

・お菓子寿城の看板商品、赤とち餅をリニューアル

栃の実をさらに贅沢に使用し、北海道産小豆を6時間かけて炊き上げた風味豊かな粒あんを使用した更に美味しい商品にバージョンアップ



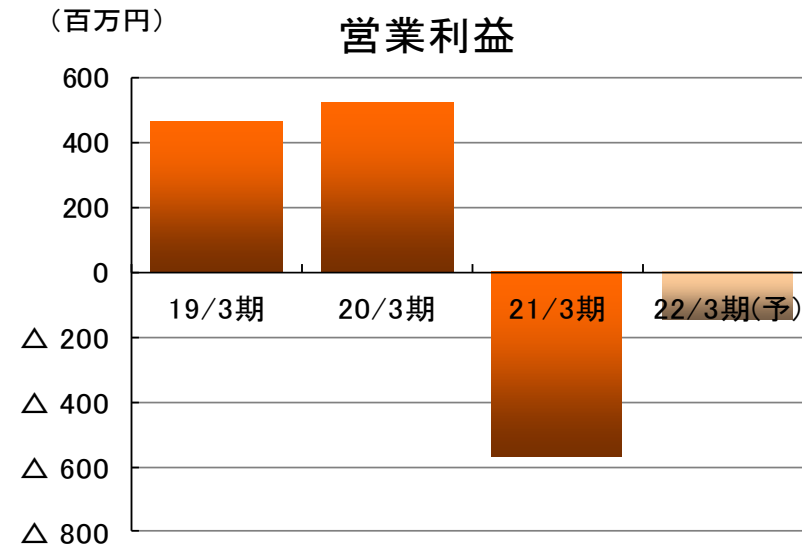
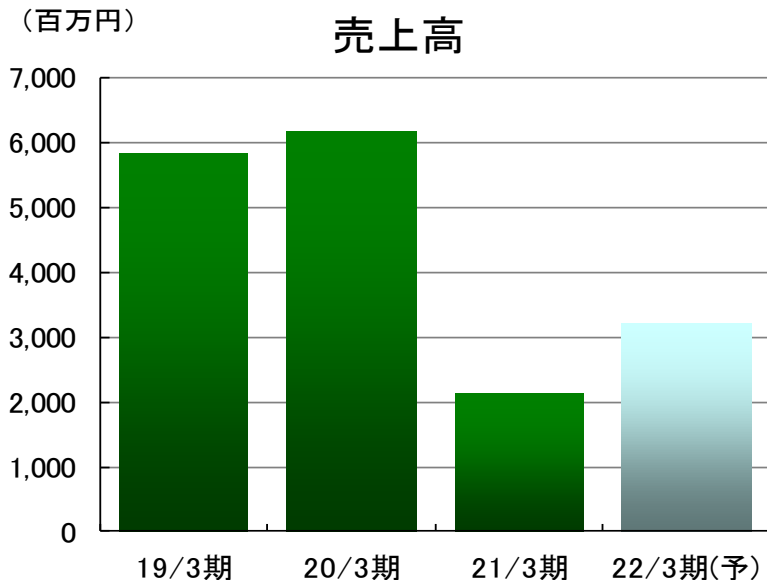
お菓子の寿城



赤とち餅

# 《販売子会社》

22/3期予想:売上高 **3,229**百万円(前期比 **+51.0%**)営業利益 **△143**百万円(前期△566百万円)



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,829	6,176	2,139	△ 4,037	△ 65.4	3,229	1,090	51.0
売上総利益	2,057	2,224	625	△ 1,599	△ 71.9	1,157	532	85.2
粗利率	35.3	36.0	29.2	△ 6.8		35.8	6.6	
販売管理費	1,590	1,700	1,191	△ 509	△ 30.0	1,300	109	9.2
営業利益	467	523	△ 566	△ 1,090	-	△ 143	423	-

# 《販売子会社》

主要交通拠点での自家需要に対応した新商品の投入、売場提案に注力

・関西地区の販売子会社では「コンディトライ神戸」及び「京都ヴェネト」ブランドによる通販を強化



京都ヴェネト 京都宇治抹茶チーズケーキ ジェミニ

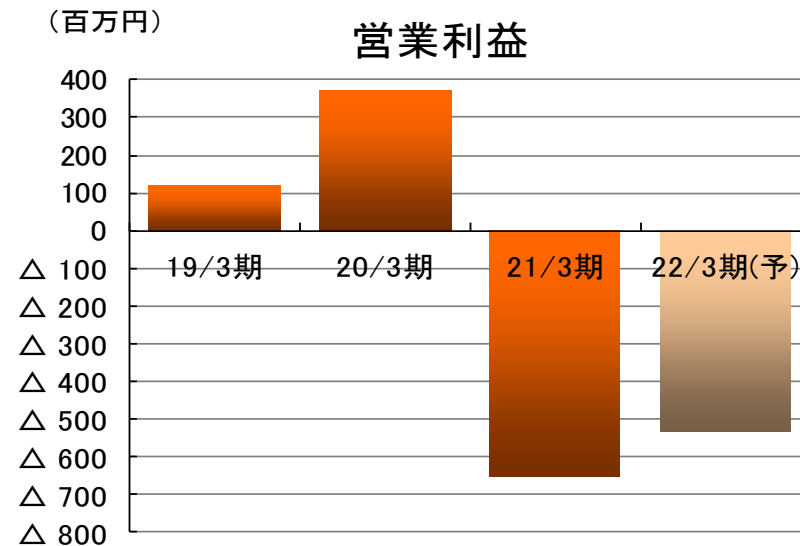
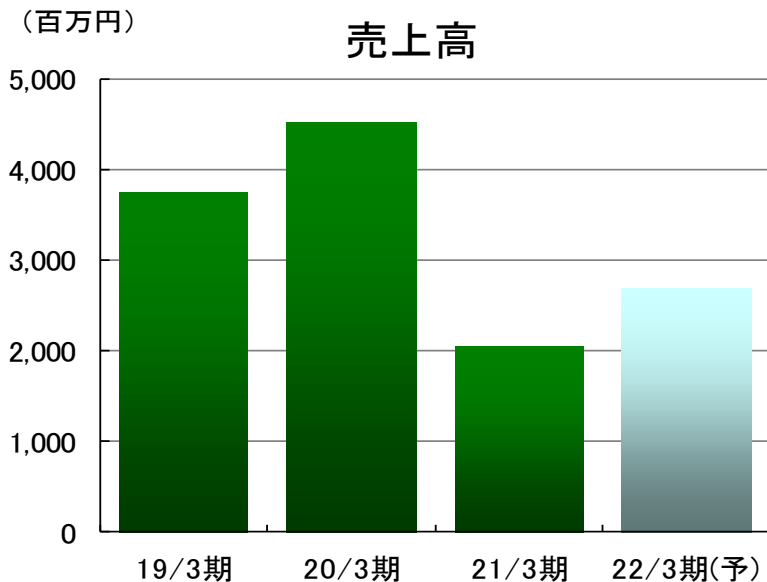


花福堂 博多まっかな苺のパフェチーズケーキ



# くじゅうくしま 《九十九島グループ》

22/3期予想:売上高 **2,698**百万円(前期比**+31.8%**)営業利益 **△535**百万円(前期△649百万円)



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,759	4,522	2,047	△ 2,475	△ 54.7	2,698	651	31.8
売上総利益	1,709	2,127	650	△ 1,477	△ 69.4	1,082	432	66.4
粗利率	45.5	47.0	31.8	△ 15.3		40.1	8.3	
販売管理費	1,589	1,753	1,300	△ 453	△ 25.9	1,617	317	24.4
営業利益	120	374	△ 649	△ 1,023	-	△ 535	114	-

# くじゅうくしま 《九十九島グループ》



## 各ブランドの店舗展開と催事展開に注力

- ・ハウステンボス地区ではイベントの開催やプレミアム・フレッシュスイーツの販売など独自の施策を展開



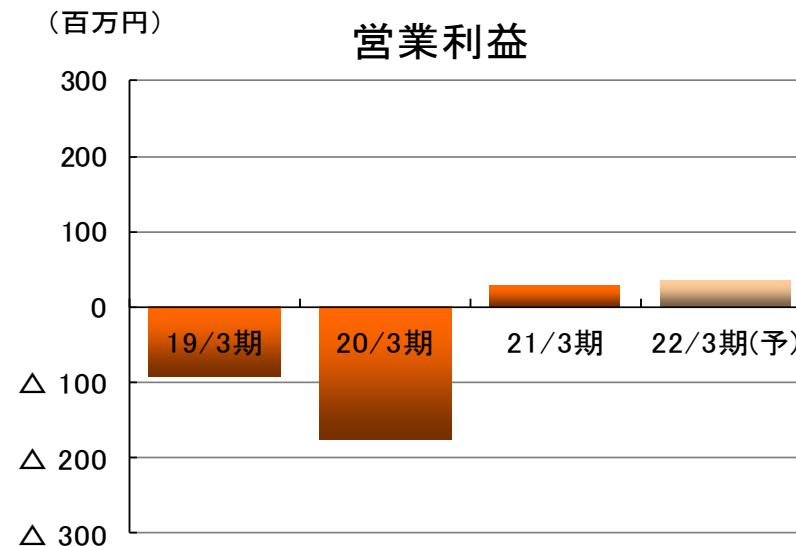
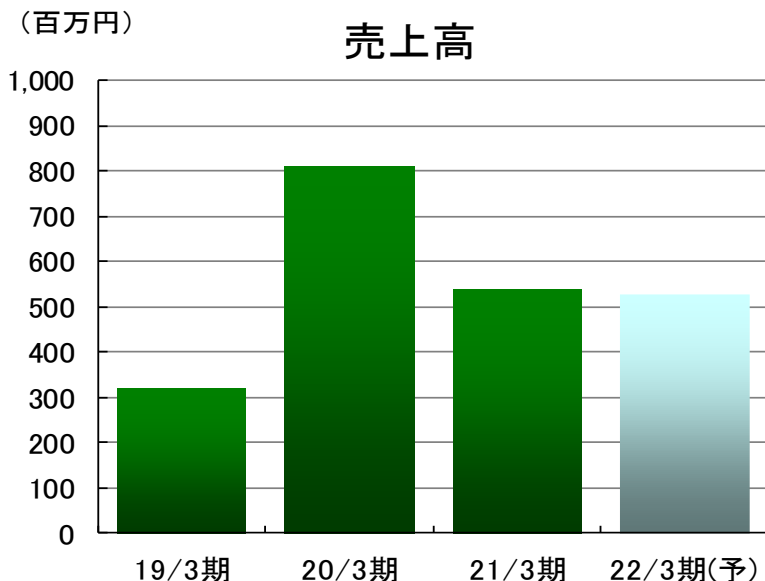
タンテ・アニー本店



焼き立てミニカースケイク

# 《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

22/3期予想:売上高 **528**百万円(前期比 $\Delta 2.1\%$ )営業利益 **34**百万円(前期比 $+24.6\%$ )



(百万円,%)	19/3期	20/3期	21/3期	対前期		22/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	321	812	539	△ 273	△ 33.6	528	△ 11	△ 2.1
売上総利益	191	529	383	△ 146	△ 27.6	373	△ 10	△ 2.6
粗利率	59.6	65.1	71.1	5.9		70.6	△ 0.4	
販売管理費	283	706	356	△ 350	△ 49.6	339	△ 17	△ 4.7
営業利益	△ 91	△ 177	27	204	-	34	7	24.6

●その他に含まれる香港事業は、一昨年2月に事業を閉鎖し、現地法人Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中。

# 《その他》

台湾菓子事業：好立地催事の獲得と季節イベントでのギフト対策を強化

健康食品事業（純藍事業）：相談薬局との連携強化による新商品開発、販路拡大に注力



**THE MAPLE MANIA**  
台湾 新光三越台北信義新天地A11催事



新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する藍由来抽出物の不活化効果を確認 寿スピリッツ株式会社と奈良県立医科大学との共同研究により実証

2021年1月6日寿スピリッツIRリリース





# 株式の状況・株主還元

# 株式の状況

(2021年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

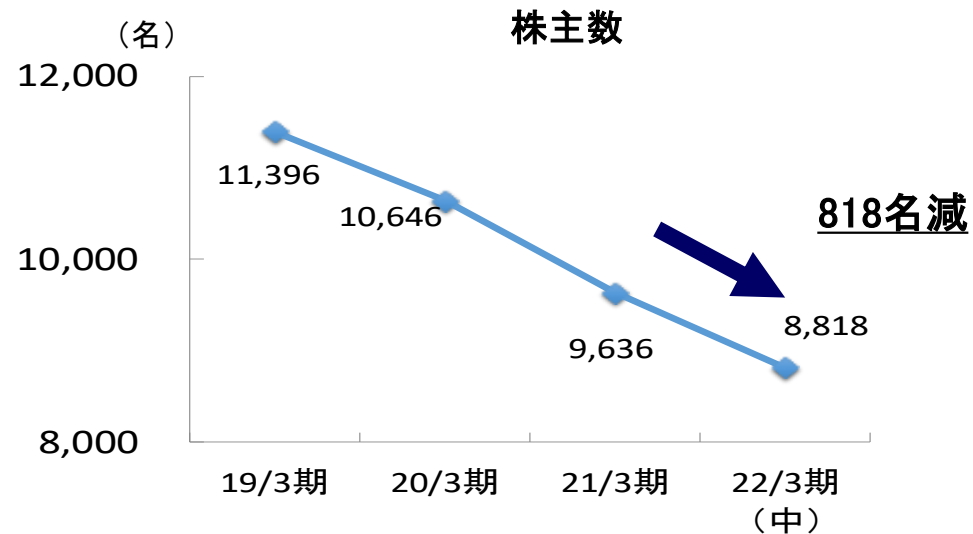
■株主数 8,818名

(対前期末比 818名減)

■大株主(上位5位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,947,000	9.47
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,913,700	6.15
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,621,014	5.21
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89

(注)出資比率は、自己株式2,208株を除く

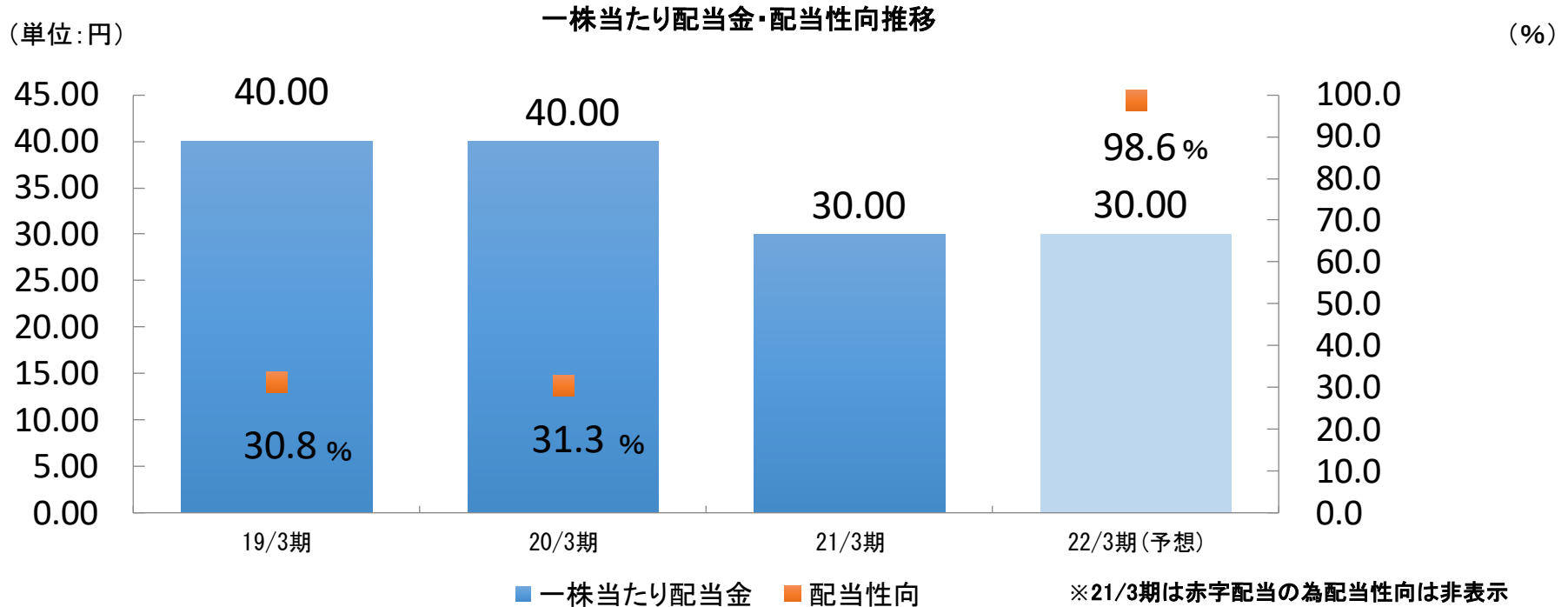


# 株主還元

## ■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

## ■ 2022年3月期1株当たり配当金予想 **30円**



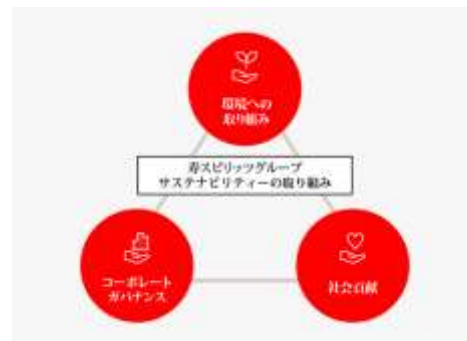
## 《サステナビリティ開示について》

寿スピリッツのコーポレートサイトでサステナビリティの取組み及びESGデータの開示を行っています。事業を通じて経営理念「喜びを創り喜びを提供する」を実践し、社会に必要とされる存在であり続けることこそ、社会的責任を果たすことであると捉えており、サステナビリティを最重要テーマの一つと位置付け、取り組んでまいります。



寿スピリッツグループサステナビリティ

こちらのQRコードからご覧いただけます



## 《新市場市場区分の選択結果について》

当社は、2021年9月14日開催の取締役会において、2022年4月4日移行予定の東京証券取引所新市場区分について、当社が所属する市場区分として「プライム市場」を選択する決議を行いました。2022年1月11日に東京証券取引所より新市場区分の選択結果の公表があり「プライム市場」でのスタートが決定いたしました。





# 《参考情報》



# 会社概要

商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,558名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	232億円(2021年3月期)

# 沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

## 沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



“ドゥーブルフロマージュ”

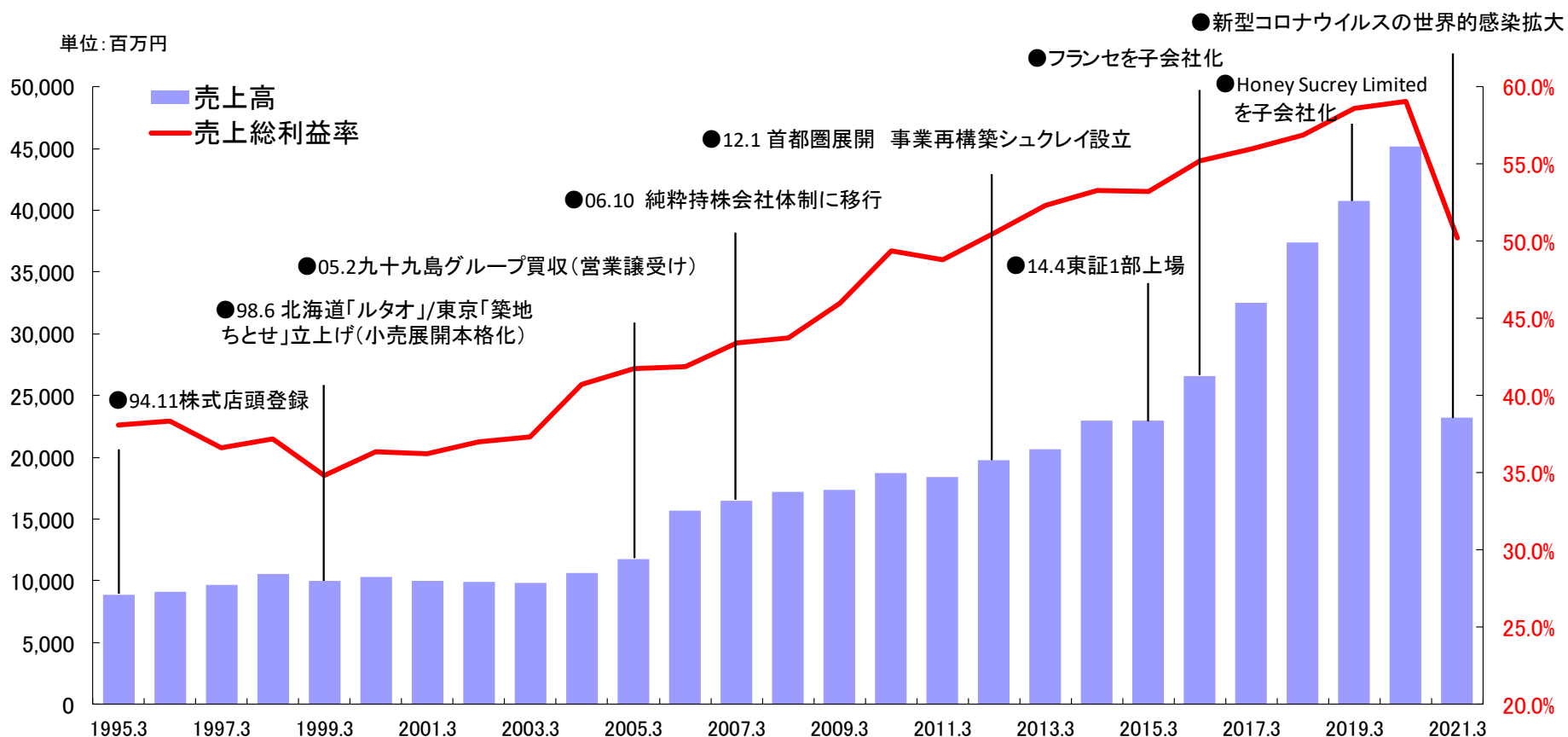


“九十九島せんぺい”

# 寿スピリッツグループの変遷①

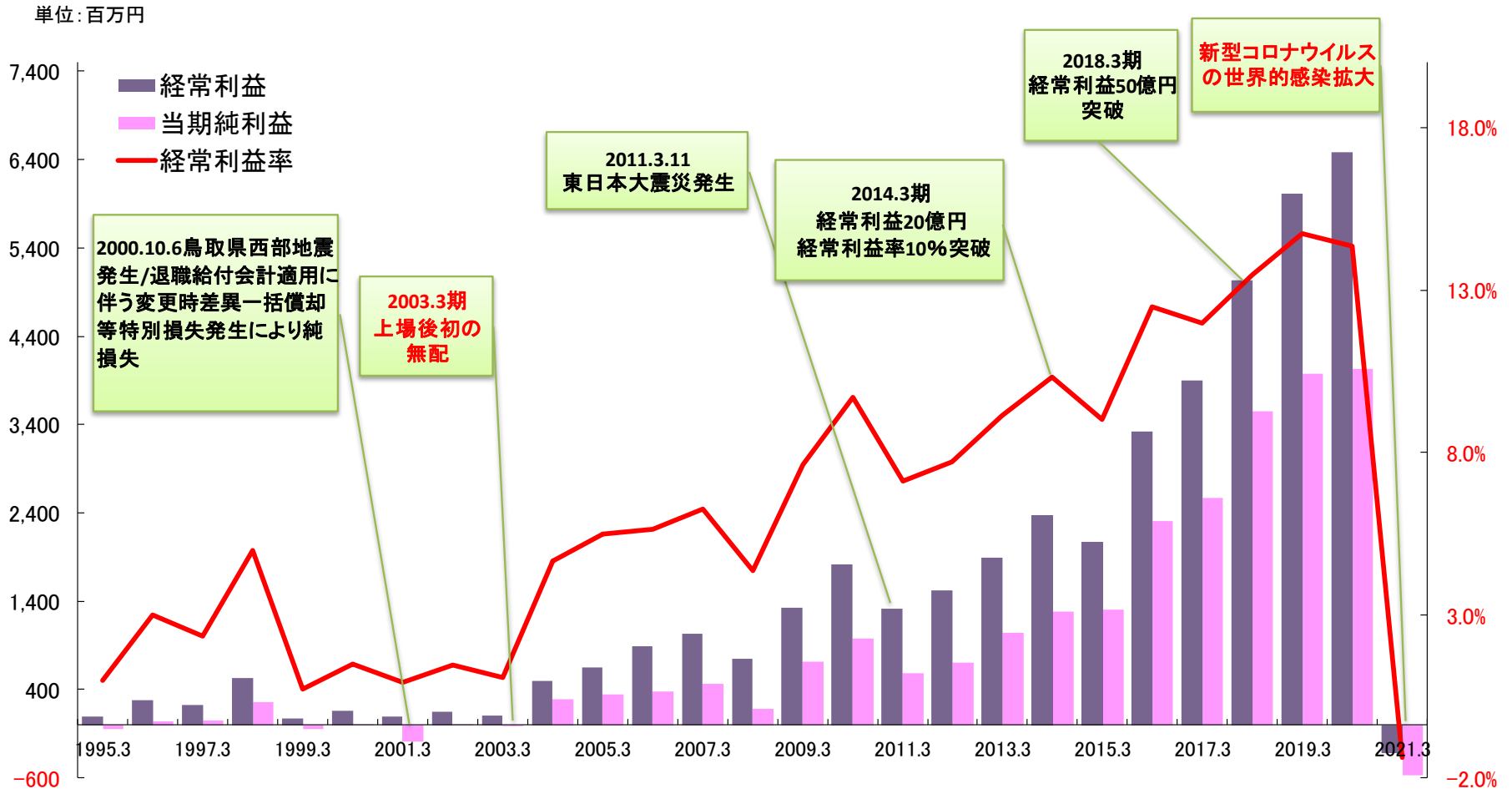
製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進

2021年3月期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響受け、売上総利益率が大幅減



# 寿スピリッツグループの変遷②

2021年3月期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響受け純損失を計上



# 主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

**KÄNOZA**  
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



**FRANÇAIS**  
(東京)

# 主力商品一例



Nostalgic Modern  
**LeTAO**  
\*Nostalgic Sweets Master\*

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



「九十九島せんべい」

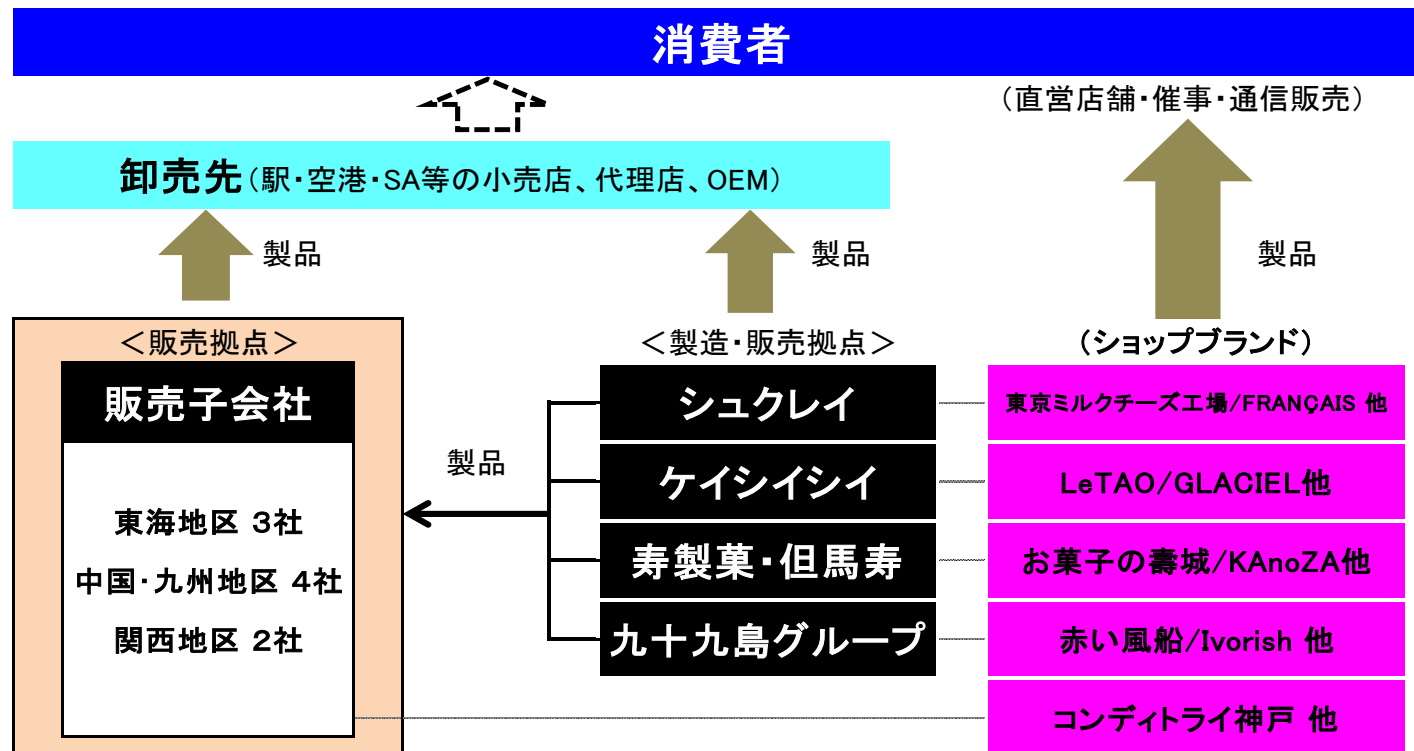


# 事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。  
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



## 熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。



# 《シュクレイ》

## ●第10回 スイーツコンテスト／Tarte-1グランプリでグランプリを受賞！

2021年11月に開催された、全国から選りすぐりのタルトを募集してグランプリを決定する「第10回スイーツコンテスト／Tarte-1グランプリ」にて、シュクレイ企画開発部吉田ヘッドシェフの作品「東京タル都 ～東京おひさまベリーと八丈島パッションフルーツ～」が全87作品の中から見事グランプリを受賞!!



吉田ヘッドシェフ



「東京タル都 ～東京おひさまベリーと八丈島パッションフルーツ～」

# 《ケイシイシイ》

## ●ライブコマースでの生配信

ルタオでは楽天市場のライブコマースでの生配信を開始いたしました。

社員目線でのおすすめ商品のご紹介やシェフの実演、生放送ならではの視聴者様のコメントとのやりとりなど、新たな形での熱狂的ファン創りにチャレンジを行っていきます。



山陰  
名産  
因幡の白うさぎ  
寿製菓株式会社

# 《寿製菓・但馬寿》

- メルカリ社主催のインディーズ土産全国デビューへの道で全国1位を獲得した因幡の白うさぎのミュージックビデオ風WEB CMをYoutubeで公開！



動画はこちらのQRコードから  
ご覧頂けます



# くじゅうくしま 《九十九島グループ》

## ●「九十九島せんべい」発売70周年

九十九島せんべいは1951年に誕生し、お陰様で今年で70周年を迎えることができました。これまでの熱狂的ファンの方々に感謝をするとともにこれからも、今日一人の熱狂的ファン創りに邁進して参ります。



九十九島せんべい70周年記念CM



新デザイン「長崎の風」九十九島せんべい70周年記念限定缶